



うるしで紡ぐ未来

2024.7.27 | 土 | >>>> 9.1 | 日 |

観覧時間 | 10:00 ~ 18:00 ※入館は 17:30 まで

休館日 | 火曜

観覧料 | 一般 500 円、75 歳以上 250 円

主催 | 加賀市美術館

特別協力 | 山中漆器連合協同組合、彦十蒔絵、KANEGAE、

協力 | 加賀市美術協会、加賀市美術館友の会

後援 | 加賀市、加賀市教育委員会、北國新聞社、北陸放送、
テレビ金沢、エフエム石川、加賀ケーブル

左上 山崎夢舟 鷹蒔絵箱 個人蔵
右上 針谷祐之 四季草花蒔絵香炉(阿古陀) 作家蔵
右下 彦十蒔絵 綺麗なお姉さん 作家蔵



加賀市美術館 KAGA CITY ART MUSEUM

〒922-0423 石川県加賀市作見町リ1-4 URL <https://kagabi.kagashi-ss.com/>
TEL 0761-72-8787 FAX 0761-72-8789 指定管理者 加賀市総合サービス株式会社

うるしで紡ぐ未来

2024.7.27 | 土 | >>>> 9.1 | 日 |

今年1月に発生した「令和6年能登半島地震」。多くの尊い人命と平穏な日常を奪い去った未曾有の大災害は、伝統工芸として名高い輪島塗にも甚大な被害をもたらしました。その様な中にもあっても懸命に立ち上がろうとしている輪島の職人集団がいます。「彦十蒔絵」とそれを主宰する若宮隆志氏です。古い文献を研究し、受け継がれなかった技法を復活・改良し、そして常識を覆す新たな技法を生み出し続ける彼らは、まさに輪島で培われた漆芸の、その未来を紡ぐ存在といえます。

輪島と並ぶ石川の代表的漆器産地、加賀市山中にも、漆を、さらに次のステージへと昇華させようとする数多の試みを通じて新しい漆芸の境地を求める匠たちがいます。

産地を超えた漆芸の匠たちの出会いが、石川の「うるし」の未来に新たな1ページを刻むのではないのでしょうか。多様な漆芸作品の数々を紹介しつつ、「うるし」が秘める無限の可能性と未来像を考えます。



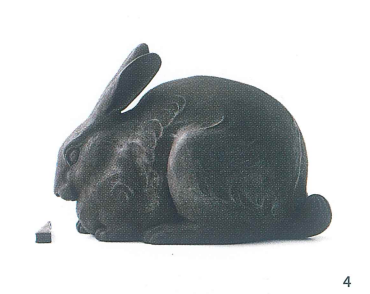
1



2



3



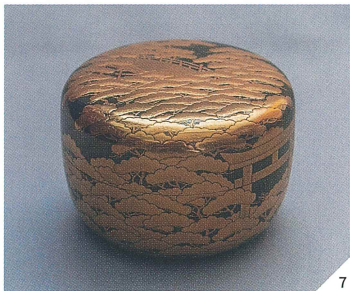
4



5



6



7



8



9



10



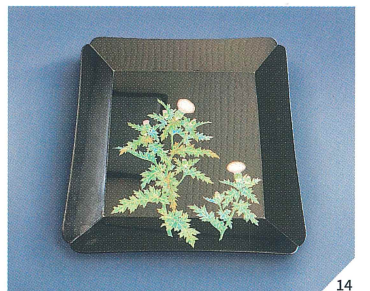
11



12



13



14

1. 川北良造 榎造針拵盆 作家蔵 2. 松山武司 八角漆黒鏡「Reflect」作家蔵 3. 清水一人 血 墨流し塗(5枚のうち) 作家蔵 4. 彦十蒔絵 ごあいさつうさぎ 作家蔵 5. 川北浩彦 榎造花入 作家蔵 6. 東藤達也 古代螺鈿三宝 作家蔵 7. 谷口博山 住吉蒔絵平棗 作家蔵 8. 錦池一貴 牡丹蒔絵扇小箱 作家蔵 9. 針谷祥吾 翡翠蒔絵石花生(観音下石) 作家蔵 10. 針谷絹代 鳳凰蒔絵盆 作家蔵 11. 荒川文彦 乾漆輪花盤 作家蔵 12. 川北浩嗣 榎造花入 作家蔵 13. 針谷崇之 盃(3点) 作家蔵 14. 大下宗香 アサミ蒔絵花形盆 作家蔵

EVENT 関連イベント

◆ 漆チャンネル

日時 | 8月3日(土) 13:00~
参加費 | 無料 ※申込不要・観覧料別途

日本文化愛好家 セバスチャン高木 氏
彦十蒔絵主宰 漆坊主若宮隆志 氏

セバスチャン高木氏と漆坊主こと彦十蒔絵の若宮隆志氏が漆のこと・工芸のことを深掘りする番組です。

◆ ギャラリートーク

日時 | 8月4日(日) 13:00~
参加費 | 無料 ※申込不要・観覧料別途

若宮隆志 氏 (彦十蒔絵主宰)
針谷祐之 氏 (うるしアートはりや)
進行 当館学芸員

ACCESS 交通案内

《電車》 加賀温泉駅から徒歩2分

《車》 北陸自動車道
加賀I.Cから約15分、片山津I.Cから約15分
※アビオシティ加賀の駐車場をご利用ください



HP
<https://kagabi.kagashi-ss.com/>



Instagram
@kagabi8787



Twitter
@kagabi02



Facebook
加賀市美術館

加賀市美術館

KAGA CITY ART MUSEUM

〒922-0423 石川県加賀市作見町1-4
TEL 0761-72-8787 FAX 0761-72-8789
指定管理者 加賀市総合サービス株式会社

《観覧料》
割引券

一般：500円
↓
400円

こちらのチラシをお持ちください
上記金額でご覧いただけます
※1枚につき2名まで有効